

ああ、結婚！

—婚活日記—

第10回

黒田長宏

<2019年2月20日>

合理的なのか手抜きなのか。私の Facebook で
の既出のまま貼り付けます。

『婚難救助隊』のカウンター数が200を超えた。
Facebook 広告に感謝である。本格的な営業はまだ
していないが、Facebook 広告から垣間見てく
れている。だが、まだ会員さんがいないので、特別、
今日閉架式のブログに書いたことをコピーして
みる。活動が動いたとは言えない状況かも知れな
いが、世の中いろんな人がいてくれるから、サイ
トをみてくれる人がいる状況なら、動いてくる
と思っている。

堀ちえみさんとは1学年しか変わらない同世
代だと思う。舌がんステージ4の公表は衝撃的で、
普段あまり観ないワイドショーを朝から1時間
観てしまった。アイドル時代は、小泉今日子や中
森明菜などが私は良かったが、堀さんの40代
ころに美しさに気づいて、出演番組など追って観
ていたりしたものだった。

聞きかじりに書いたように、私は極力初婚を貫
いたほうが良いと思う立場だが、堀さんは三度目
の配偶者であるが、異父、異母ではありながら、7

人の子供たちに恵まれ、仲も良く、報道でも、ご
自身のブログでも、今のご主人との愛情が垣間見
られる記述である。ステージ4と言っても、舌が
んの5年以上の生存率は50%だと言う。高い数
字だと思う。12時間もかかる手術だというが、
全身麻酔で起きたころには終えていると、フジテ
レビで小倉キャスターも経験から言っていたが、
現代医学を扱う医師や看護師などスタッフの大
きさがうかがえる。人は、一人では生きていけ
ない生物なのだと改めて感じさせられる。

まだ Facebook 広告しか広告していないくらい
だが、これが掘り出し物で重宝していて、婚難救
助隊のサイトを観てくれた人達がカウンターが
200を超えたから、オープン前にも30くらい
のカウント数からはじめてしまったので、正確な
数字は出せないが、おそらく150人は覗いてく
れたと思う。急ぎたいが、急いでもしようがない
状況だと思うので、とにかく、Facebook 広告を毎
日続けているのでやれていると思う。ちょっと夫
婦や家族の大事さなどの主張を、サイトの性格か
ら出せていないところが、不十分な気もするが、
説教臭くなるのもセンスが悪いので、
くどい話はブログでするようにしたい。この調子
だと誰かが開けたら随分たまっているのだらう
か。はやく会員さんが来てくれて、協力してくれ
れば、少子化や生涯未婚率や、孤独死問題にも抵
抗できると思うのだが。

<2月20日の2>

ただ、8つやっていて1つに絞ったマ○○・ド
ット○○だが、2度メールをくれてマッチした人
が、起業って何？と聞いてきたので、婚難救助隊
サイトを紹介したら、来なくなった・・・。

<2月22日>

不意を突かれたが、亡き祖父の妹のご主人が急
死し、昨日が通夜で今日が葬儀だった。インフル

エンザ以外でももとの連休にこの3連休を足して5連休は今の勤務先で初めてだ。昨日でちょうど勤務10年になった。10年前の勤務初日の10年後、このような事は予想できるわけもなく、プライベートな詳細はいろいろあるものの、水稲の種まきなど手伝ってもらった思い出などが浮かぶ。

88歳同士で米寿同士の記念をしたばかりの夫婦だったのだが。結婚生活は68年に及び、出会いは小学生の頃からというから80年にはなるのだろうか。すごいケースだと思う。亡き祖父の妹たちは祖父も含め個性が強いが、亡くなられて未亡人になったのは長女で、気丈夫である。杖はついているものの、しっかりしている。毒舌なのが玉に瑕だが、そうした強さが必要でもあるのだろう。

そうした中で、婚難救助隊の話題は出さなかったが、カウンターは230になった。まだただ観に来る人のみの状態だが、Facebook 広告からの来客が幾人か日々いるというのは可能性ありだと思う。

そして堀ちえみさんは全身麻酔で眠っているのだろうか、10時間から12時間に及び手術中なのだろうと思う。同世代としても気になる。5年以上の生存率が50%だという。決して少なくはないのではないか。

<2月24日>

婚難救助隊の隊員1号が思わず登録された。我ながら驚いた。

<3月1日>

隊員1号から随分過ぎたが変だなと思ったら2月は28日までだった。隊員の方々を増やし、常駐していただくためには、専門家の方々のアドバイスコーナーが有益だと思い、対人援助学会メンバーリストにもお伝えした通り、以前からの

ネット上の知人にも幾人か寄稿依頼をした。大企業からの広告収入での運営を目指しているものの、それはなかなかすぐには出来ないだろう。しかし、何もしなければ可能性さえない。大企業からの広告収入運営は可能性ありと信じているから、厚かましいようだが、寄稿をお願いする作業を行った。

<3月4日>

婚難救助隊サイトを、昨日と今日とで、当初は、Q&Aの形式の場にしようとしていたコーナーを掲示板書き込みのようなスタイルで良いと思ったのと、それぞれ6つのテーマを過半数変えてみた。

部屋の壁に婚難救助隊と書いた紙を貼った。

<3月8日>

伝言板コーナーをリニューアルした。女性サイトなのに、男性が書き込める場所を組み込んだ。

一日20人前後が初回の閲覧をしてくれている様子。書き込んでくれる人が出てくれば良いのだが。

<3月15日>

対人援助学マガジンに婚難救助隊のURLを掲載してもらえた。このことは私の一つの達成だと思う。対人援助学会に感謝する。一昨日まで20人近くの初見だったのだが、昨日が9人、今日は午後6時時点で4人となぜか閲覧者が減っているのだが、ネット広告からの影響だろうか。まだ大勢の女性に広告されるはずだと思うのだが。まだ登録隊員になってくれた人は一人だけだが、一人いれば二人以上現れてくると考えよう。こういうのは突然ブレイクするものだと思うが、そのうちに何らかの実力を私が付けないと、いずれにせよどうにもならないのだ。

< 3月26日 >

まだ締め切りまで2か月あるから変化すると信じたいが、どんどん増えるということにはなっていない。婚難救助隊サイトという自分のサイトばかり意識がいついて、久しぶりに少しだけ、一つだけ残してある婚活サイトに応募してみたが、どうしてこの婚活サイトには大勢人が来るのか。しかも有料なのに。どこが違うのか。ただ年期は違うが。組織も違うか。私は一人か。3連休だったが、初日が、法事と自治区の役員の引継ぎであわせて11枚の婚難救助隊初代隊長としての名刺を配った。

昨日は過ごした。今日も半分終わってしまう。次の連休に期待しよう。

< 4月21日 >

多少変えながらサイトを続けて、今日閲覧者1000カウントに達成した。まだ実際の結婚難の人達を救う段階にはなっていないが、サイトを続けていれば何か起きるはずだと信じて続行。

< 5月1日 >

令和か。おめでとう。

< 5月15日 >

締め切り間近になって、久しぶりに閲覧者からの反応があったが、メルマガ登録での反応で、メルマガは忘れたころに出す予定のため、できれば隊員か投稿をお願いしたいとメールした。かなり時間はかかるが、アクションを起こしてくれる人が皆無ではないわけではある。

< 5月17日 >

現在は道草を探す人になってしまったが、昔は、「早いのが取柄、岡本信人君」と言われたような、岡本さんのように、私は提出はなんでも早いのを

モットーとしているので、締め切りまであと8日ほどあるが、今回も提出させていただこう。個人的にはこの3か月、詐欺師さんと交際させていただいた以来交際できなかった。あと8日しても交際には至らない気がするから提出してしまおう。婚難救助隊活動は記述してきた通りであるが、メルマガ登録1人と、よくみたらユーチューブのチャンネル登録者も1人いた。かなりゆっくりしたペースで進んでいるのだろうか。閲覧者数はここまで、1382カウントである。もし私の婚難救助隊が有名になれば、対人援助学会にもご迷惑をおかけするくらいアシストができることだろう。願いはかなう。母親が元気なうちに、再婚したいし、子供も欲しい。52歳まであと一か月を切った。次は52歳でお会いできれば良いのですが。検索はもう、『婚難救助隊』ですれば出ますから、URLを添付する必要もないでしょう。現在、隊員私も含めると2人。書いてくれた人1人、お願いした人1人、合計執筆4人という状況であります。